

「第2次グリーンテクノロジー研修」開講式挨拶文  
(日本大使館 地神一美参事官)

イッ・プラン (H.E Mr. Ith Prang)・工鉱業エネルギー長官閣下  
吉武進也 (よしたけ しんや)・日本技術士会前副会長様

本日は、イッ・プラン・工鉱業エネルギー長官閣下のご出席のもと、この「第3次グリーンテクノロジー研修」の開講式に出席できましたことを大変嬉しく思います。

本研修は、2004年1月と同年12月に開催され、今回が第3回目になると承知しています。今回の研修では、農産物加工技術とエネルギー開発技術の2コースが実施され、カンボジアの政府関係者、民間企業でグリーンテクノロジーに携わる技術者の人材育成、キャパシティービルディングに貢献するものと考えます。

カンボジアはご承知に通り、国民の就業人口の約7割が農業セクターに関わりを持ち、農村での居住者が8割以上を占めております。また、カンボジアのGDPの概ね3割から4割は農業セクターが生み出しております。このように、農産物そのものの生産の振興と同時に、農産物の加工産業を発展させて経済成長をいかに実現していくかがこの国の大きな課題となっております。

また、エネルギーの開発は、カンボジアの経済開発の鍵となる最も重要な分野であり、産業発展には欠かせないものであります。しかしながら、さまざまな産業の成長と同時に、自然環境にかかる負担もまた増加する傾向があります。ここカンボジアにおいても、開発が進み、産業が成長すると共に、この国が有する豊かな森林、湖、河川等の自然環境への悪影響が発生することを心配しております。

今回の研修は、このような相互に関連する2つの課題に同時に取り組み、この2つの分野における人材育成等の初期的支援や日本の本分野に対する取り組みを紹介するものであり、ここにお集まりの将来のカンボジアを担う方々が受講するに相応しい課題がタイムリーに含まれているものと確信しております。

最後になりましたが、様々な分野からお集まりの受講生の皆様、本日から始まる研修で得られた成果を、実社会や行政の場で、また学術研究の場で活用されることを願っております。

ありがとうございました。